

平成26年度第4回向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 要点録

○開催日時 平成27年3月20日（金） 午後2時から3時

○開催場所 向日市民会館 3階 第5会議室

○出席者

八木橋委員、植田（進）委員、森田委員、出射委員、高桑委員、山本委員
松田委員、柳澤委員、乾委員、植田（茂）委員

○欠席者 川本委員・石田委員

○傍聴者 2名

○議事 (1) パブリックコメントの結果について
(2) 第7次向日市高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画
(最終案) について
(3) その他

○資料 資料1 : パブリックコメントの結果について
資料2 : 第7次向日市高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業
計画（最終案）

○内容

- 冒頭
- ・傍聴者の確認
 - ・事務局より配布資料の確認

議事①パブリックコメントの結果について
(要点)

○実施期間は平成27年1月5日～26日までであったが、市民からの意見、
提案件数はゼロであった。

(主な意見・質疑)

○パブリックコメント制度が、市民の声を計画に反映させるものであるなら、
計画の内容を理解してもらえよう、改正ポイントをまとめるなどの工夫を
凝らし、次回の計画策定時には、市民にとってわかりやすいパブリックコメ
ントになるよう配慮してほしいとの要望があった。

○計画書のパブリックコメントの記載について結果を載せるべきとのご意見が
あった。

○パブリックコメント制度は、市民を対象とした制度であるため、各団体から
も意見が出せるようお願いしたいとの意見があった。

議事②第7次向日市高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画（最終案）
（要点）

○前回配布資料から変更した点について説明。

向日市の面積が 7.72km²へ変更となったこと、第1号被保険者の保険料基準額が 5,177 円になったこと、所得段階を 12 段階としたことについて説明し委員からは次の意見、質疑があったが、計画等については概ね了承をいただいた。

（主な意見・質疑）

○生活支援コーディネーターは誰が担う想定か、また、制度改正について専門的な知識を有する市にプロジェクトチームを作るなど、生活支援コーディネーターを支援していくべきではとの質問があり、福祉・保健・医療関係者を想定しており、国のガイドラインでは明確な規定がないので、今後、近隣市町や保健所と調整しながら考えていくことを説明。

○介護報酬の減額が大きなマイナスであるが、介護予防については撤退する事業者も出てくる可能性があることについてはどのように考えているかとの質問があり、当面は今後の状況を見て判断する考えであると回答。

○介護老人福祉施設の利用見込が実績に比べ高いのではとの質問があり、平成 26 年度の実績数が増加していることや、特別養護老人ホームの利用は近隣だけでなく京都市内でも新規建設を予定しているため、広域的にみて増加する見込みをたてていることを説明。

○介護保険制度の改正については市として来年度から体制準備をすすめてほしいとの意見があった。

○介護保険料の基準額が前回と同様であるのは想定通りかとの質問があり、利用量が伸びるサービスはきちんと伸ばしたうえで計算したところ前回と変わらない結果であったことを説明。

○第2号被保険者に対しての介護保険制度の周知について質問があり、計画の内容は第1号の方を中心とした内容になっていると回答。

議事③その他

（要点）

○平成 27・28 年度の策定委員会については、年度末に 1 回開催予定。

○八木橋委員長が今年度で退任。